

こちらの本もよんでみてね！

なみだひっこんでろ

913 イ 岩瀬 成子/作, 上路 ナオ子/絵 (岩崎書店)

ぼくが弟にしたこと

913 イ 岩瀬 成子/作, 長谷川 集平/絵 (理論社)

朝はだんだん見えてくる

913 イ 岩瀬 成子/作, 長 新太/絵 (理論社)

だれにもいえない

913 イ 岩瀬 成子/作, 網中 いづる/絵 (毎日新聞社)

小さな小さな海

913 イ 岩瀬 成子/作, 長谷川 集平/絵 (理論社)

わたしのあのこあのこのわたし

913 イ 岩瀬 成子/著 (PHP研究所)

ちょっとおんぶ

913 イ 岩瀬 成子/作, 北見 葉胡/絵 (講談社)

もうひとつの曲がり角

913 イ 岩瀬 成子/著 (講談社)

月夜の誕生日

E ツキ 岩瀬 成子/作, 味戸 ケイコ/絵 (金の星社)

こ ども 読 書 の ま ち い ち の み や

いわせ じょうこ 岩瀬成子の本

いわせ じょうこ
岩瀬成子(1950年～)

じ どう
児童文学作家。

山口県生まれ。1977年、『朝はだんだん見えてくる』でデビュー。

同作で第11回日本児童文学者協会新人賞受賞。

『うそじゃないよ』と谷川くんはいった』で第41回小学館
じ どう し ゅ っ ぱ ん し ゅ う さ ん け い じ どう し ゅ っ ぱ ん し ゅ う じ ゅ し ゅ う
児童出版文化賞、第39回産経児童出版文化賞を受賞。

『あたらしい子がきて』で第52回野間児童文芸賞受賞。

さん し ゅ う
参照『ひとりかもしれない』

『新・こどもの本と読書の事典』



一宮市立中央図書館
2025年10月発行





ひとりかもしれない



913 イ

岩瀬 成子/作

(フレーベル館)

ママがさいこんして、転校することになった小4の女の子、貝。でも貝は転校したくありません。本当のパパのことや、学校でのことを思い出して、貝はひとりぼっちになった気がして…。



「うそじゃないよ」と谷川くんはいった



913 イ

岩瀬 成子/作, 味戸 ケイコ/絵

(PHP研究所)

るいは、学校では口をききません。転校生の谷川くんが「ぼくとは話せよ」と声をかけてきました。るいは話したいが声が出ません。

ジャングルジム



913 イ

岩瀬 成子/作, 網中 いづる/絵

(ゴブリン書房)

お姉ちゃんをなかせたかりんちゃんと、妹のすみれはたたかうことに。どちらが公園のジャングルジムの高いところからとべるか勝負しますが…。家族におくる5つのお話。

春くんのいる家



913 イ

岩瀬 成子/作, 坪谷 令子/絵

(文溪堂)

小4の日向は、母といっしょに、そふぼの家でくらしていました。そこに、いとこの春がいっしょにくらすことになり、おじいちゃんから「今日から家族だ」と言われます。

ネムノキをきらないで



913 イ

岩瀬 成子/作, 植田 真/絵

(文研出版)

おじいちゃんの家にあるりっぱなネムノキを、大人たちは切りたいおすと言い出しました。ぼくは反対したけれど、言いたいことを上手く言葉にできず、えだは切り落とされてしまいます。

ともだちってだれのこと?



Eトモ

岩瀬 成子/作, 中沢 美帆/絵

(佼成出版社)

ネズミがテンの家に遊びに行くと、ドアに「ともだちの家に行きます」という紙がはってありました。自分のことだと思ったネズミは走って家に帰りますが、テンは来ていません。

あたらしい子がきて



913 イ

岩瀬 成子/作, 上路 ナオ子/絵

(岩崎書店)

みきとるいの姉妹に、弟ができました。でも、家族はみんな赤ちゃんのことばかりで…。人とのつながりを通してせいちょうしていく姉妹の物語です。

だれかないてる



Eタレ

岩瀬 成子/作, 味戸 ケイコ/絵

(佼成出版社)

大すきだったワンピースが着られなくなって、なきだしてしまったりりか。外に出たりりかは、森の中から、なき声を聞きつけ、たどっていきます。

